



アクセス

専用送迎バスをご利用の場合

JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」、南海高野線「堺東駅」、南海本線「堺駅」・「七道駅」、地下鉄御堂筋線「新金岡駅」から送迎バスを運行

公共交通機関をご利用の場合

南海バス

- ・南海高野線「堺東駅」、または南海本線「堺駅」から4番系統に乗車 「栄泰橋」下車すぐ
- ・南海高野線「堺東駅」から13番系統に乗車 「栄泰橋」下車すぐ
- ・JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」、または南海本線「堺駅」から35番系統に乗車 「安井町」下車徒歩約5分

電車

- ・南海高野線「堺東駅」から徒歩約18分

<https://seikeikai.or.jp/seikeikai/>



社会医療法人 清恵会
清恵会病院

〒590-0064 大阪府堺市堺区南安井町1丁1番1号
TEL. 072-223-8199(代) FAX. 072-221-3691

社会医療法人 清恵会
清恵会病院





清恵会 理事長
佐野 記久子

「さらなる地域医療への貢献を目指して」

社会医療法人清恵会は2015年10月1日、堺市堺区南安井町(市立堺病院跡地)に清恵会病院を移転・開院しました。

1970年に救急病院として堺区向陵中町に開設して以来、ひたすら救急医療に専念する一方、診療機能の充実や施設整備の向上に努力を重ねて参りました。

移転後の現在、急性期機能病院としての清恵会病院は救急態勢や診療体制の強化を図り、地域の要望や患者様の声に耳を傾け、必要とされる専門分野の整備や良質の医療サービスの提供を第一に、親しまれ、信頼される病院でありたいと、日々研鑽し、診療機能の向上に取り組んでおります。

さらに、高齢化が急速に進む2025年を見据えて、医療・介護サービスの現状と今後の在り方について、私共も自院や地域環境の変化に応じた医療の機能区分や専門性を進めて、医療機関の皆様との円満な連携を図りながら、堺市の皆様に継続性のある適切な医療を受けていただけますよう、地域医療連携の役割の一端を担っていくべく努力を重ねて参りたいと存じます。

清恵会の職員は「真の清恵会らしさ」を追求し、その実現のために、社会人として、医療人としての責任と誇りを持ち、常に自己啓発に励み、豊かな人間性を身につけるために日々努力して参ります。

清恵会理念

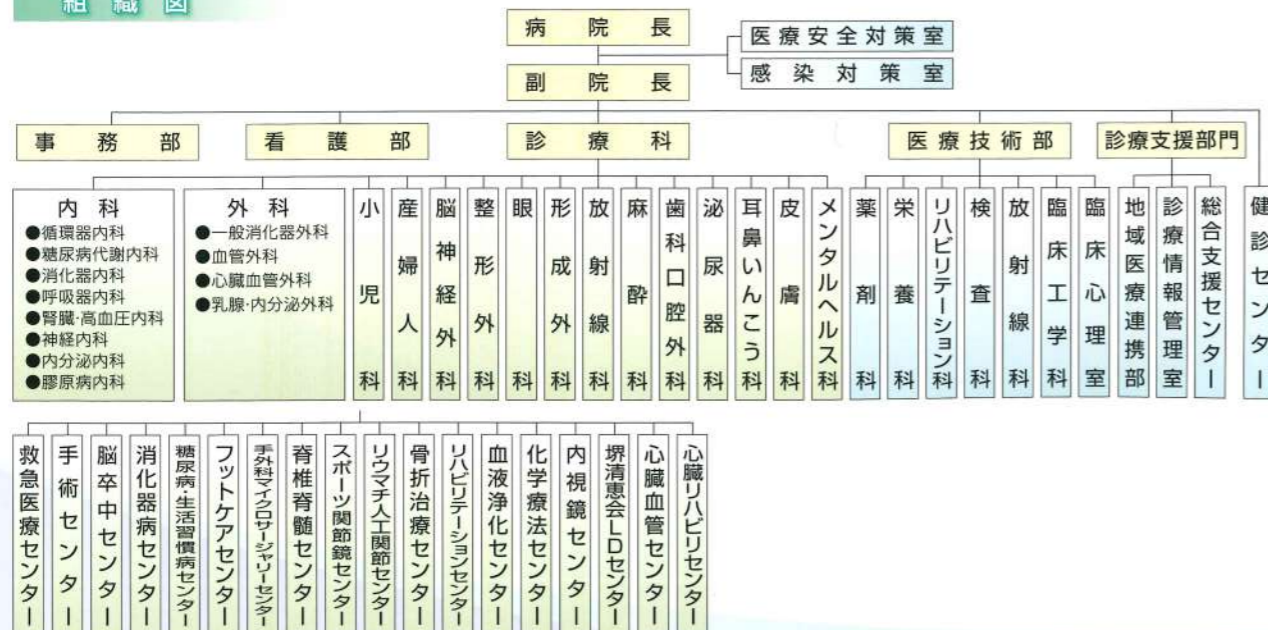
清恵会の職員は生命(いのち)を尊び、
人々の健康を願い 医療の充実に日々努力します。

経営方針

民間病院の良さを生かしながら、
地域の皆様のお役に立てる
病院でありたいと希望し、
「5つの方針」を掲げて
日夜頑張っております。

1. 地域の皆様の生命(いのち)と健康を守る医療
2. 信頼と安心の医療
3. 患者様中心の医療
4. 思いやりのあるサービス
5. 患者様のトータルニーズに応えるサービス

組織図



清恵会病院 院長
森信 若葉

「ご挨拶」

1970年7月、清恵会病院は堺市の救急医療の充実を目指して設立されました。
以来、24時間受け入れ体制の救急医療を基軸に日々の診療を続ける中、医療の質の向上、施設の拡充を進め、病病連携、病診連携を緊密に行い、地域医療の充実への貢献を志して参りました。

2015年10月、市立堺病院跡地に清恵会病院と清恵会三国丘クリニックを統合移転・開院し、医療環境はより充実したものとなりました。現在、急性期病床、地域包括ケア病床、医療療養病床を合わせ持ち、地域における中核病院としての役割を担っております。

また、臨床研修病院ならびに清恵会医療専門学院の教育機関として、未来を担う医療人の育成にも力を入れております。今後は日々進歩する医療技術を積極的に取り入れ、更に診療力の研鑽に努めて参ります。

清恵会病院の職員が、患者様やご家族に安心の医療をご提供すること、そして職員自身が誇れる病院であることが、これからの医療環境の変化の中においても、変わらず、最も大切なことであると考えます。

地域の皆様に「困った時は清恵会」と頼りにしていただけるよう、救急医療を基軸とした地域医療の充実に努力を重ねて参る所存です。

施設認定一覧

- 基幹型臨床研修病院
- 日本医療機能評価機構認定病院(一般病院2:機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)
- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本肥満学会認定肥満症専門病院
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本小児神経学会認定小児神経専門医研修認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本手外科学会専門医制度研修施設
- 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
- 日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
- 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
乳房再建用エキスパンダー/インプラント実施施設



認定第 JC1728 号

全館のご案内

- 屋上 ヘリポート
- 8F 健診センター・管理棟(訪問看護ステーション・ケアプランセンター)
- 7F 地域包括ケア病棟(7A病棟)・医療療養型病棟(7B病棟)
- 6F 整形外科専門別センター・6A病棟・6B病棟
- 5F 消化器病センター・5A病棟・清恵会病児保育室めぐみ・総合医局
- 4F 脳卒中センター・脊椎脊髄センター・4A病棟・4B病棟(女性専用病棟)
- 3F 手術センター・ICU・SCU・血液浄化センター
- 2F 外来・検査・リハビリテーションセンター・堺清恵会LDセンター・コンビニ
- 1F 案内・受付・会計・外来・検査・リハビリテーションセンター・救急医療センター・薬局・総合支援センター・カフェ
- B1F 厨房 駐車場
- B2F 駐車場

建物概要

病床数	全336床(ICU 10床、SCU 5床) 地上8階・地下2階・塔屋2階 SRC造
敷地面積	14,096㎡
建築面積	6,296㎡
延床面積	43,286㎡

外来診療部門



当院は人口約84万人の政令指定都市堺市において、年間6,000件以上の救急搬送受入を担ってきた救急告示病院です。全科協力体制の救急医療センターでの24時間救急を基軸に、各科外来においては、多くの専門外来を開設し、他院からの紹介患者さんを積極的に受け入れ、病診連携を強化しています。さらに、地域の住民の皆様へ、より良い医療サービスをご提供できるよう日々努力しています。

診療科一覧

内 科(循環器内科、糖尿病内科、代謝内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、膠原病内科)
 外 科(消化器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、内分泌外科)
 小児科 / 産婦人科 / 脳神経外科 / 整形外科 / 眼科 / 形成外科 / 放射線科 / 麻酔科
 歯科口腔外科 / 泌尿器科 / 耳鼻いんこう科 / 皮膚科 / メンタルヘルス科
 リハビリテーション科



内科 待合

再来受付機



脳神経外科

眼科

レーザー治療器



整形外科

急性期から慢性期の疾患まで、骨軟部の悪性腫瘍を除き、整形外科全般にわたり対応が可能です。救急整形外傷にも力を入れており、開放骨折、手指切断、脊椎損傷などの緊急手術を要する外傷に24時間対応しています。

産婦人科

産科では自然出産をモットーとしますが、母児の健康を考え、必要に応じて帝王切開に切り替えます。分娩にはゆったりとしたLDR室2室を設置。婦人科では、卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮脱や子宮頸癌などの手術、月経異常や更年期の不調の管理など女性の健康を生涯にわたりサポートいたします。

*LDR室…陣痛(Labor)、出産(Delivery)、回復(Recovery)

人間ドック、脳ドック、健康診断

清恵会病院では、人間ドック、脳ドック、健康診断などを行っています。疾病の早期発見・早期治療はもちろんのこと、病気の発症を予防することが最善の治療と言えます。

- 人間ドック
- 脳ドック 3コース
- 一般健康診断
- 企業健康診断
- 特定健康診査
- 堺市がん検査



専門別センター



初療室



救急車到着エリア



救急外来診察室の待合

救急医療センターをはじめとする専門性を追求した特色ある各センターを運営し、多職種のスタッフによるチーム医療で患者さんをトータルにサポートいたします。

センター一覧

救急医療センター / 脳卒中センター / 消化器病センター / 糖尿病・生活習慣病センター
 フットケアセンター / 手外科マイクロサージャリーセンター / 脊椎脊髄センター
 スポーツ関節鏡センター / リウマチ人工関節センター / 骨折治療センター
 リハビリテーションセンター / 血液浄化センター / 化学療法センター / 内視鏡センター
 手術センター / 堺清恵会LDセンター / 心臓血管センター / 心臓リハビリセンター
 健診センター

救急医療センター

2015年の病院移転とともに、体制・ハード面ともリニューアルしました。救急車から直接入室できる重症対応の初療室と、自己来院された患者さんのための4つの診察室で、内科・外科・脳神経外科・整形外科・小児科を24時間体制で受け入れています。

糖尿病・生活習慣病センター

糖尿病専門医、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、栄養士などが協働して、糖尿病に合併する各病態に対して総合的な診療を行うとともに、必要な知識を身につけていただく「糖尿病教育コース」を入院・外来ともに行っています。

フットケアセンター

糖尿病や下肢閉塞性動脈硬化症、人工透析中の方で、足壊疽などのトラブルに対するハイリスク患者さんに対して、ドイツ式フスフレーゲの手法を用いて処置やケアを行っています。

脳卒中センター

脳卒中専門医により最善の脳卒中急性期医療（外科的手術、血管内治療、t-PA静注療法、他）を提供できる体制を整えています。超急性期にはSCU（脳卒中専門集中治療室）での重症管理を行うとともに、早期リハビリテーションを開始、以後も専門病棟での集約的治療により、生命予後、機能予後の改善に努めています。

整形外科 専門別センター

整形外科全般にわたって専門的治療を行っています。保存的治療から手術まで、なるべく侵襲の少ない治療法を目指しており、顕微鏡視下手術（脊椎脊髄外科、手外科など）、関節鏡視下手術（関節外科、スポーツ整形外科など）は特に良好な成績を残しています。

内視鏡センター

3つの検査ブースを備え、上部・下部内視鏡検査、カプセル内視鏡などを迅速にかつ安全に施行できるようにしています。早期胃癌に対する内視鏡切除をはじめ、経皮的胃瘻造設術、食道静脈瘤結紮療法、内視鏡的乳頭切開術なども行っています。健診や人間ドックにおいても、内視鏡検査を積極的に行っています。

堺清恵会LDセンター（学習障害支援）

大阪医科大学付属病院小児科学教室ならびに当院小児科と連携して、発達障害のお子さんの診察・診断・評価・指導を行っています。言語聴覚士とオプトメトリスト*が在籍し、お子さんの発達や特性に合わせて一人ひとり個別に支援しています。

*オプトメトリスト…視機能の検査・評価や訓練を行う専門職



内科および糖尿病・生活習慣病センター



脳卒中センター 血管内治療



内視鏡センター

入院診療部門



入院病棟 総室(4人部屋)



入院病棟 一般個室

重症治療管理を含めた急性期医療から、在宅支援を目的とした地域包括ケア病棟、さらには急性期を脱した患者さんが、転院することなく療養を続けられる療養病棟を備えた、ケアミックス病院の体制を整え、よりきめ細やかで、心のこもった看護を提供しています。



手術室

手術センター

手術室は8室あり、多くの予定手術ならびに緊急手術に対応できます。手術麻酔システムも電子化し、より安全な手術体制を整えています。



ICU・SCU

ICU(集中治療室)

10床あり、急性心筋梗塞、重症呼吸不全、急性腎不全や各種手術の術直後など、重症の患者さんのケアと管理に力を注いでいます。

SCU(脳卒中専門集中治療室)

5床あり、超急性期の脳卒中治療など重症度の高い患者さんについて高度な全身管理を行っています。

LDR室ならびに女性専用病棟

LDR(Labor:陣痛、Delivery:出産、Recovery:回復)

出産に際しては、陣痛時から出産をへて回復に至るまで、専用のお部屋(LDR室)で、母子同室で過ごしていただけます。

女性専用病棟の2人部屋はゆったりとした空間で、家具調のパーティションで個室化しています。



LDR室

小児病棟

各病床に設置したDVDプレーヤー、病棟のプレイルームなど入院中のお子さんとそのご家族が少しでも快適に、退屈せずに過ごせるように工夫しています。



女性専用病棟 2人部屋

栄養サポートチーム(NST)

医師(内科・外科・口腔外科)、看護師、栄養士、薬剤師、言語療法士、歯科衛生士などの他職種からなるチームが、栄養管理に関する回診やカンファレンスを行い、患者さんの早期回復を強力にサポートしています。



小児病棟

感染制御チーム(ICT)

感染対策室の実行部隊として、感染管理認定看護師、医師、薬剤師、事務職などよりなるチームで、病院内をラウンド、管理し、各部署へ適切なアドバイスをを行います。また感染症予防の教育も熱心に行っています。

呼吸ケアチーム(RST)

医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士のチームが、毎週1回カンファレンスおよび病棟回診を行い、人工呼吸管理を行っている患者さんの呼吸ケアをサポートします。



栄養サポートチーム

褥瘡ケアチーム

形成外科医、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心としたチームが回診やカンファレンスを行い、褥瘡の発生予防や早期治癒を目指しています。

総合支援センター

医師、看護師、社会福祉士、医療福祉相談員が協働して患者さんご家族を支援しています。介護保険や経済的問題、転院の相談など、様々なニーズに応えられるよう尽力しています。



呼吸ケアチーム

医療技術部門



人工透析室(血液浄化センター)



生理機能検査室

すべての患者さんに対して、迅速かつ正確な診断が行えるように、MRI、マルチスライスCT、血管造影装置などの必要十分な最新の機器と技術を備えています。また、急性期医療を担う病院としての確かな治療と、早期の回復をサポートする各診療部門が揃っています。

抗癌剤無菌調製室



血管撮影装置



理学療法室(1F)



臨床検査室



薬剤科

無菌調剤や薬品安全管理に尽くすとともに、入院患者さんに対する服薬指導などをはじめ、病棟での業務も多数行っています。また、感染対策、栄養管理などに関してチーム医療の一員として参加しています。

栄養科

栄養管理・NST実施施設として、各職種と協力して積極的に入院患者さんの栄養サポートを行っています。また、外来では、糖尿病、肥満、慢性腎臓病など多彩な疾患に対する各種栄養指導を行っています。

リハビリテーション科

(理学療法・作業療法・言語療法)

主に運動器疾患、脳血管疾患において、発症早期の段階からリハビリテーションを開始し、日常生活動作の向上、早期退院および社会復帰のサポートを目指しています。手の外科手術後のハンドセラピーにも力を入れています。

放射線科

血管造影装置、MRI 2台(1.5T、3.0T)、マンモグラフィ、さらにフラットパネルの新機種を導入し、診断能力を向上させました。休日・夜間の緊急CT、MRI検査にも迅速に対応。連携医療機関からの検査依頼にも、迅速に対応するように努力しています。

検査科

24時間救急医療や多岐にわたる診療科の診断を円滑に行うために、至急検体検査体制の確立や、超音波検査や脳波などの多くの生理検査を行っています。また、中央採血室を整備し検査の流れの効率化を図っています。

臨床工学科

血液浄化部門の診療に加えて、医師や看護師などと共に検査や治療、医療機器の操作や修理など多様な業務を行っています。院内の医療機器が安全に使用できるよう管理と運用も担っています。

臨床心理室

糖尿病教育入院における心理的サポートをはじめとして、認知症の検査や小児発達外来での発達・心理検査、病棟でのリエゾン精神医学をサポートしています。

診療支援部門

医療安全対策室

医師、看護師はじめ多職種にわたる専任の担当者が中心となり、医療安全に関する指針やマニュアルの整備、問題事例の検討や解決に向けての方策の立案、職員に対する研修などに力を入れています。

地域連携室

各医療機関、救急隊や消防などの行政組織、そして、地域住民の皆さんと当院の、顔の見える関係づくりを積極的に進めています。具体的には、地域医療連携機関からの紹介予約・受付ならびに逆紹介や各種連携会の開催、救急隊の窓口業務、そして、一般市民の方を対象とした市民公開講座などの開催を行っています。さらに、堺シティマラソンや地域イベントなどの各種行事に関しても、積極的に参加しサポートもを行っています。

感染対策室

院内で発生している感染症動向の調査や検討、対策、マニュアルの整備などを行っています。また、院内感染制御チーム(ICT)とともに、病院内の監視、管理、各部署へアドバイス、感染症予防の教育を行うとともに、国内外の感知情報を鑑みながら、地域医療への貢献にも参画しています。

医療福祉相談室

医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が、患者さんならびにご家族の、入院生活や退院後の療養生活、医療費などに関する不安や心配事に対して親身になってご相談にのり、問題解決のためのお手伝いをします。また、自宅退院支援に向けて、退院調整看護師を中心に、ケアマネージャーや在宅支援スタッフとの調整を行います。



「堺シティマラソン」での救護支援



市民公開講座



地域イベントへの参加



出張BLS(一次救命処置)講習会



地域医療連携懇談会

館内設備



ヘリポート(緊急離発着場)



各病棟 デイルーム



3F 講堂(120名収容)



8F 健診センター



2F コンビニエンスストア(ローソン)



1F カフェ(ドトール)

駐車場 地下100台

病児保育室(堺市委託事業)

「清恵会病児保育室めぐみ」

(登録および予約制)



清恵会のネットワーク

清恵会には救急・急性期医療から在宅医療までトータルな医療体制があります。

互いに連携して充実の医療を提供しています。



複合型慢性期機能病院

清恵会三宝病院

全240床
医療療養型病床180床(60床×3病棟)、
回復期リハビリテーション病床60床
(60床×1病棟)

【診療科】
内科/整形外科/リハビリテーション科/
人工透析センター(透析ベッド数41台)/
総合リハビリテーションセンター



住所 〒590-0903 大阪府堺市堺区松屋町1丁4番地の1

Tel 072-226-8131(代)

通所リハビリテーション

さんさんデイケア三宝

住所 〒590-0903
大阪府堺市堺区松屋町
1丁4番地の1
清恵会三宝病院 介護事業部



Tel 072-225-0066

訪問看護・訪問リハビリテーション

清恵会訪問看護ステーション

住所 〒590-0064
大阪府堺市堺区南安井町
1丁1番1号 清恵会病院8階

Tel 072-232-6074



看護師・准看護師養成校

清恵会医療専門学院

住所 〒591-8031
大阪府堺市北区百舌鳥梅北町
2丁83番地

Tel 072-259-3901



人工透析外来

清恵会向陵クリニック

【診療科】
内科(人工透析)
透析ベッド数30台



住所 〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町6丁4番10号

Tel 072-257-3131

訪問リハビリテーション

さらさら訪問リハ三宝

住所 〒590-0903
大阪府堺市堺区松屋町
1丁4番地の1
清恵会三宝病院 介護事業部



Tel 072-225-0066

介護相談・ケアプラン作成

清恵会ケアプランセンター

住所 〒590-0064
大阪府堺市堺区南安井町
1丁1番1号 清恵会病院8階

Tel 072-238-6860



理学療法士・診療放射線技師養成校

清恵会第二医療専門学院

住所 〒590-0026
大阪府堺市堺区向陵西町
4丁5番9号

Tel 072-222-6226



沿革

- 昭和45年 7月 清恵会病院開設
- 昭和46年 12月 医療法人 清恵会の設立
- 昭和50年 9月 清恵会高等看護学院開校
(2年課程 定時制・昼間)
- 昭和50年 12月 清恵会病院第1分院(人工腎センター)開設
- 昭和51年 10月 清恵会高等看護学院を専修学校制度創設に伴い
清恵会医療専門学院として昇格認可
- 昭和52年 4月 清恵会医療専門学院の課程の増設
第1看護学科(3年課程全日制)
第2看護学科(2年課程定時制)
清恵会第二医療専門学院開校
理学療法士科
放射線技師科(1部・2部)
- 昭和52年 9月 清恵会病院第2分院(リハビリセンター)開設
- 昭和55年 1月 清恵会医療専門学院を現地に移転
- 昭和55年 4月 清恵会医療専門学院に准看護学科を増設
- 昭和55年 7月 清恵会近江温泉病院開設
- 平成 5年 3月 清恵会近江温泉病院移譲
- 平成 9年 4月 清恵会訪問看護ステーション開設
- 平成11年 8月 清恵会介護支援ステーション開設
- 平成16年 4月 清恵会介護支援ステーション廃止
- 平成16年 10月 清恵会病院第2分院閉院
清恵会病院 基幹型臨床研修病院指定
- 平成16年 11月 清恵会三宝病院開設
清恵会病院第1分院閉院
- 平成16年 12月 清恵会向陵クリニック開設
- 平成17年 10月 清恵会三国丘クリニック開設
- 平成20年 3月 清恵会病院・清恵会三国丘クリニック、電子カルテ導入
- 平成22年 6月 清恵会病院 日本医療機能評価(Ver.6)認定
- 平成22年 7月 清恵会病院 DPC対象病院
- 平成23年 6月 通所リハビリテーション「さんさんデイケア三宝」開設
- 平成24年 12月 訪問リハビリテーション「さらさら訪問リハ三宝」開設
- 平成26年 1月 社会医療法人に認定
- 平成27年 6月 清恵会病院 日本医療機能評価
「一般病院2:機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0」認定
- 平成27年 9月 清恵会三国丘クリニック閉院
- 平成27年 10月 清恵会病院・清恵会三国丘クリニック統合 移転開院
- 令和 1年 9月 清恵会向陵クリニックを清恵会三国丘クリニック跡地へ移転
- 令和 1年 11月 清恵会三宝病院開設15周年
- 令和 2年 4月 清恵会健診センター開設
- 令和 2年 7月 社会医療法人清恵会 清恵会病院開設50周年
- 令和 2年 8月 清恵会ケアプランセンター開設